

3 プラスチックごみ問題に対する取り組みについて

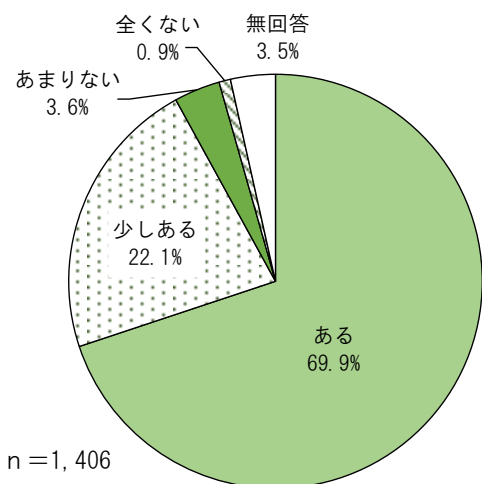
1	プラスチックごみ問題が世界的な問題であるという意識の有無	55
2	プラスチックごみ削減のために取り組んでいること・取り組みたいこと	56
3	海洋プラスチックごみが発生する原因と思うこと	62
4	プラスチックごみ削減のために、今後市に取り組んでほしいこと	64
5	レジ袋の有料化により自身の行動は変わったか	67
6	ペットボトルの排出方法	68
6-1	ペットボトルを可燃ごみとして排出する理由	69
7	プラスチックごみ問題について意識を持ってもらうために効果的だと思うこと	71
8	ごみ減量やリサイクルなどの4Rについて取り組んでいること	74

3 プラスチックごみ問題に対する取り組みについて

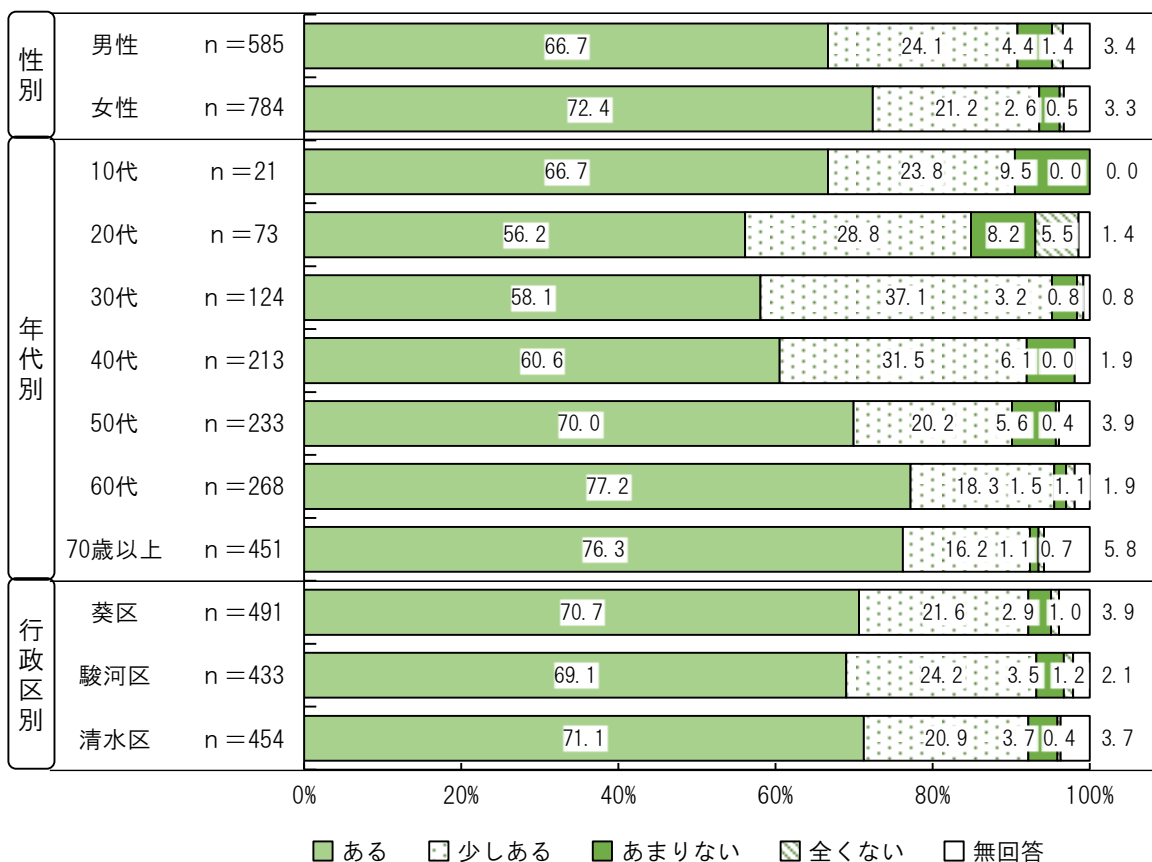
問1 あなたには、プラスチックごみ問題が世界的な問題であるという意識はありますか。
(○は1つ)

◎POINT◎

プラスチックごみ問題が世界的な問題であるという意識の有無は、「ある」が69.9%と最も多く、「少しある」が22.1%、「あまりない」が3.6%などとなっている。また、『ある』（「ある」+「少しある」）は92.0%、『ない』（「あまりない」+「全くない」）は4.5%となる。



- ◆性別で見ると、女性において「ある」が72.4%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、20代において『ある』が84.9%と少なくなっている。
- ◆30代においては「少しある」が37.1%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると大きな差異はみられない。

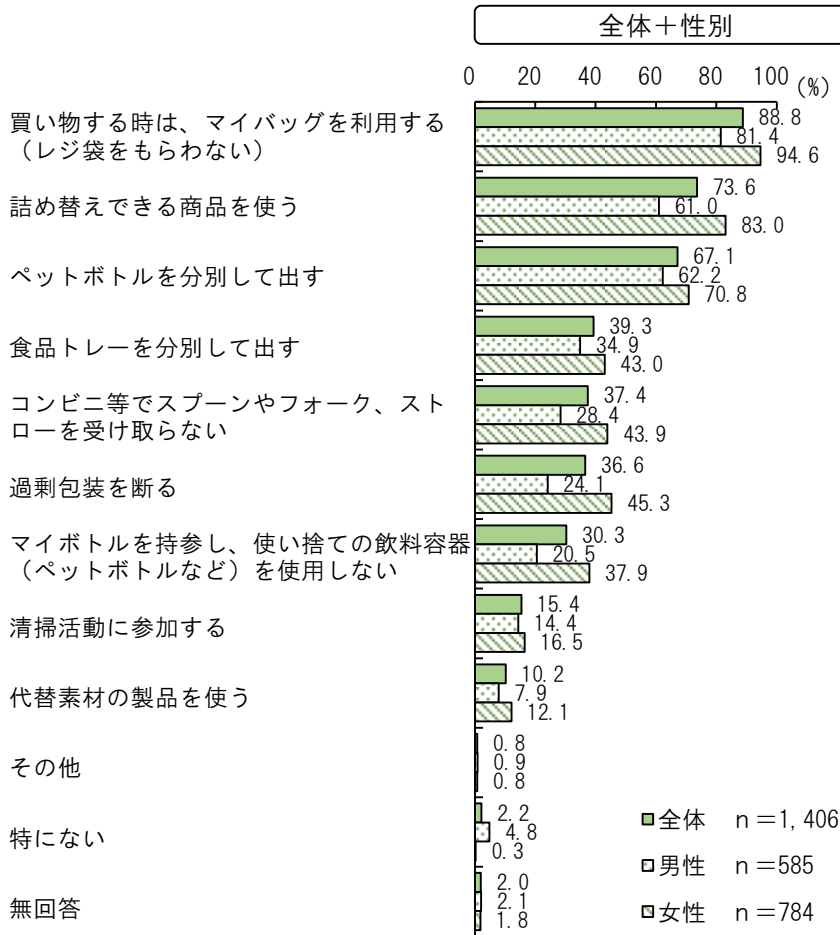


問2 プラスチックごみ削減のために、あなたが現在取り組んでいることや、今後取り組みたいこと（または、継続して取り組みたいこと）は何ですか。（〇はそれぞれいくつでも）

《①現在取り組んでいること》

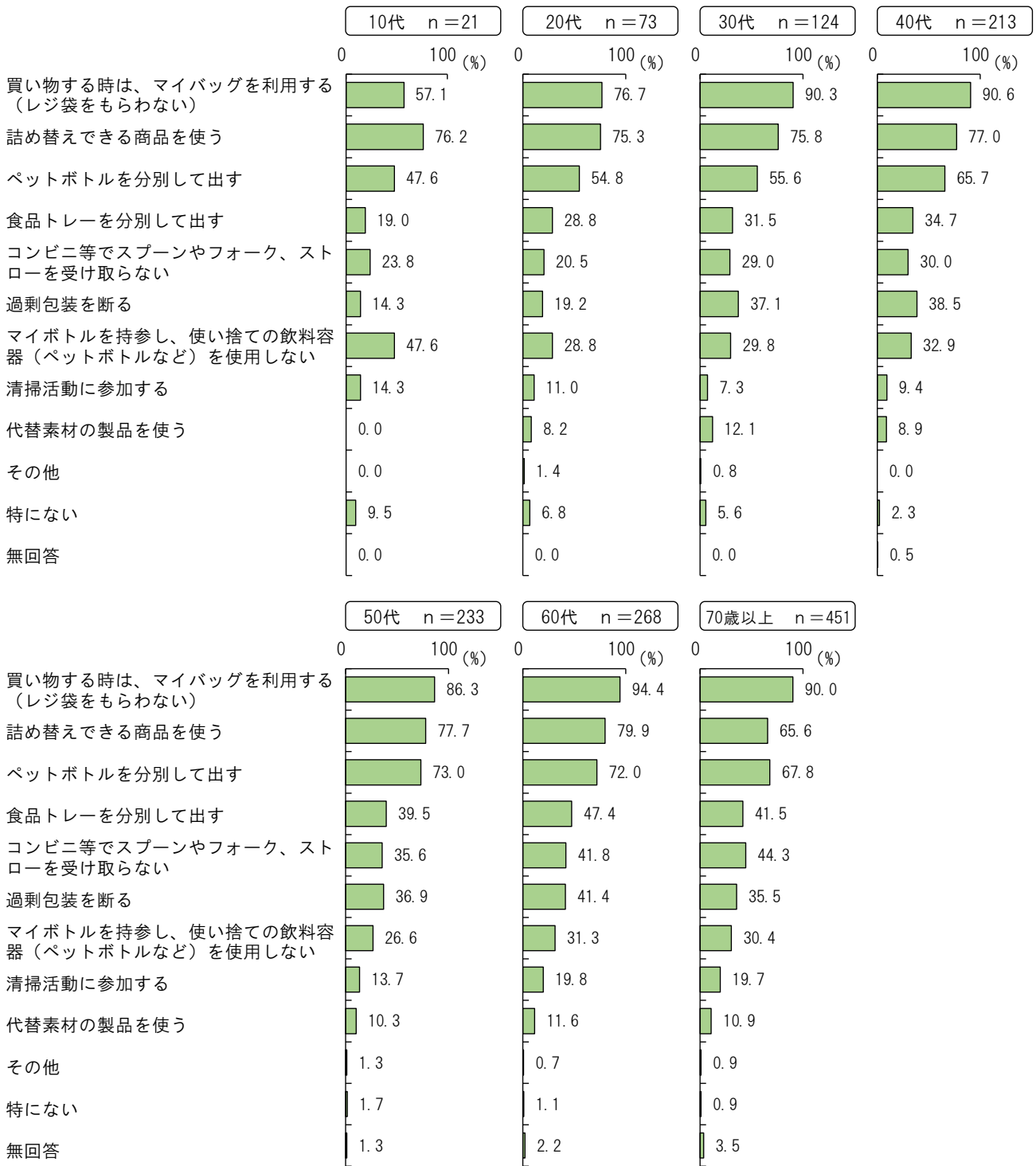
◎POINT◎

プラスチックごみ削減のために現在取り組んでいることは、「買い物する時は、マイバッグを利用する（レジ袋をもらわない）」が88.8%と最も多く、次いで「詰め替えできる商品を使う」が73.6%、「ペットボトルを分別して出す」が67.1%などとなっている。



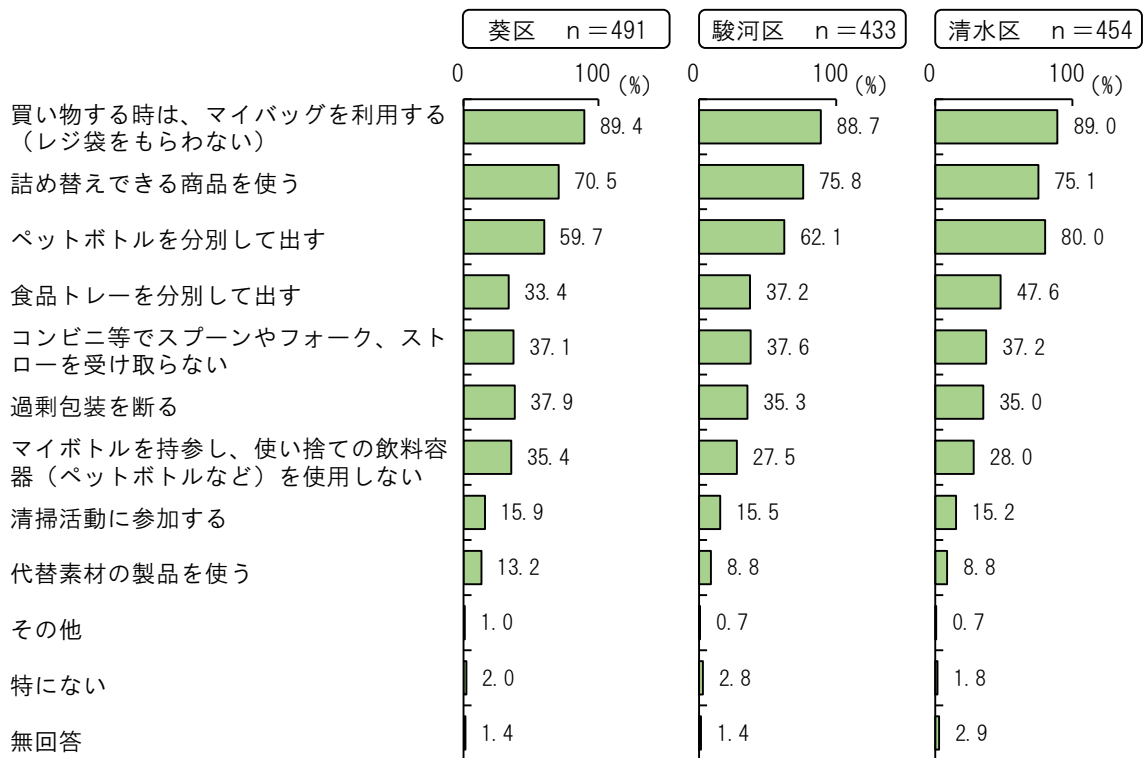
◆性別で見ると、女性において「買い物する時は、マイバッグを利用する（レジ袋をもらわない）」「詰め替えできる商品を使う」「ペットボトルを分別して出す」などが多くなっている。

【年代別】



◆年代別でみると、10代において「マイボトルを持参し、使い捨ての飲料容器（ペットボトルなど）を使用しない」が47.6%と多く、「買い物する時はマイバッグを利用する（レジ袋をもらわない）」「ペットボトルを分別して出す」「食品トレーを分別して出す」などが少なくなっている。60代においては「食品トレーを分別して出す」が47.4%と多くなっている。70歳以上においては「詰め替えできる商品を使う」が65.6%と少なくなっている。また、10代においては「詰め替えできる商品を使う」が76.2%と最も多くなっている。

【行政区別】

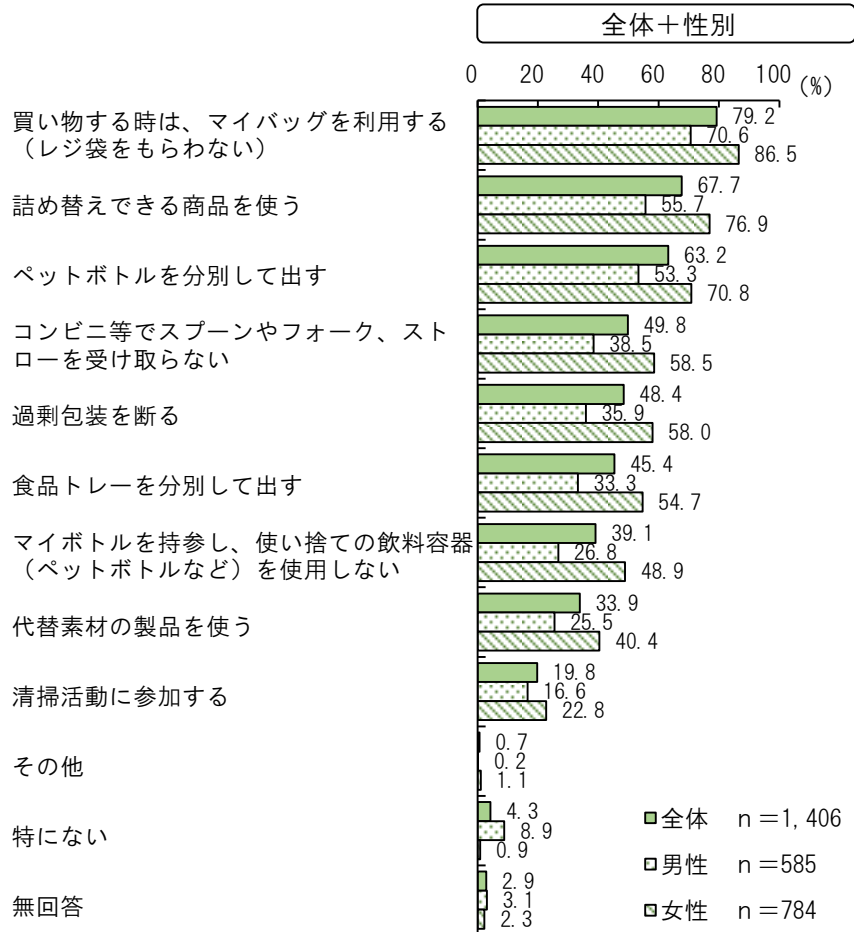


◆行政区別で見ると、葵区において「マイボトルを持参し、使い捨ての飲料容器(ペットボトルなど)を使用しない」が35.4%と多くなっている。清水区においては「ペットボトルを分別して出す」「食品トレーを分別して出す」が多くなっている。

《②今後取り組みたいこと（または、継続して取り組みたいこと）》

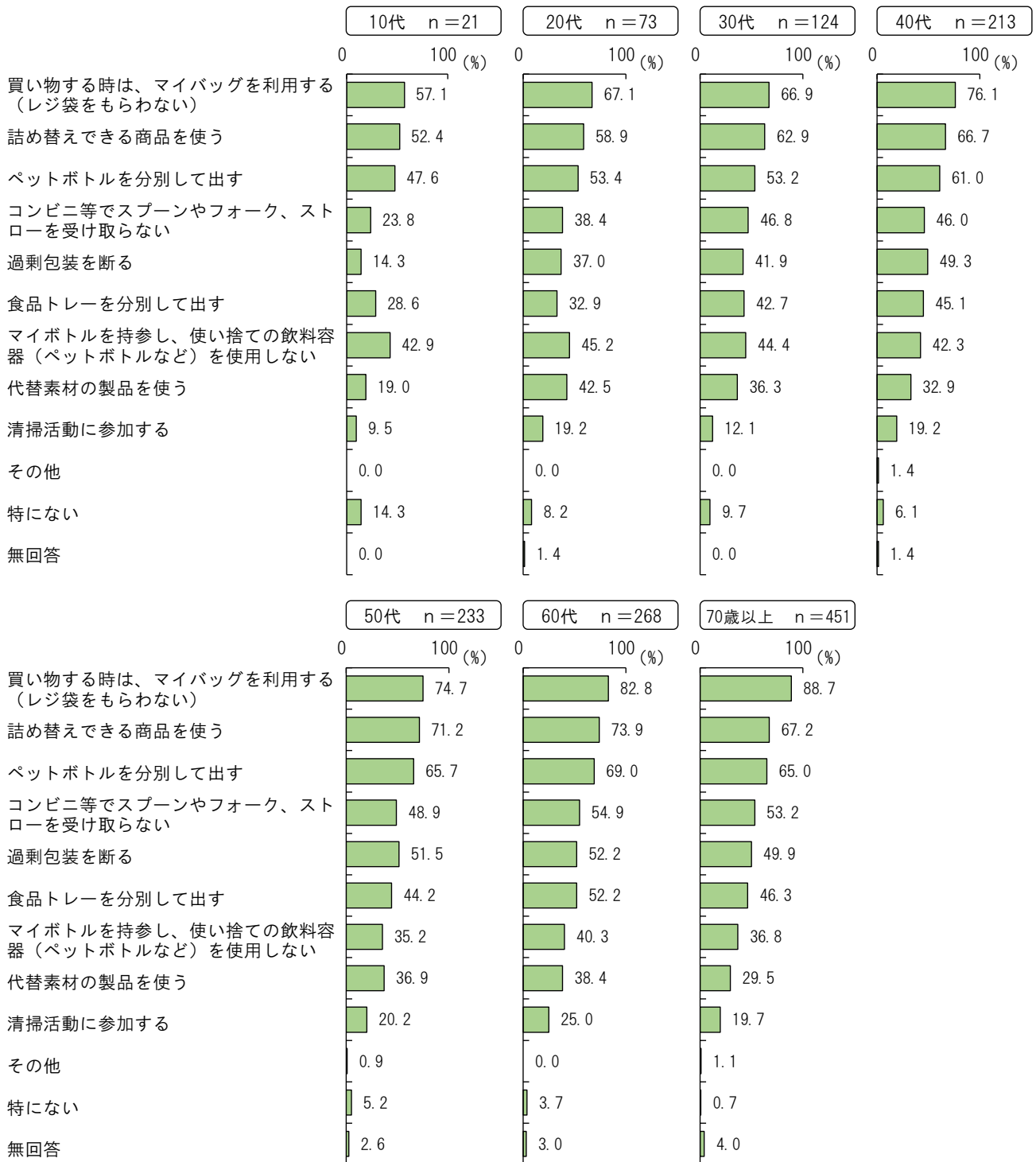
◎POINT◎

プラスチックごみ削減のために今後取り組みたいことは、「買い物する時は、マイバッグを利用する（レジ袋をもらわない）」が79.2%と最も多く、次いで「詰め替えできる商品を使う」が67.7%、「ペットボトルを分別して出す」が63.2%などとなっている。



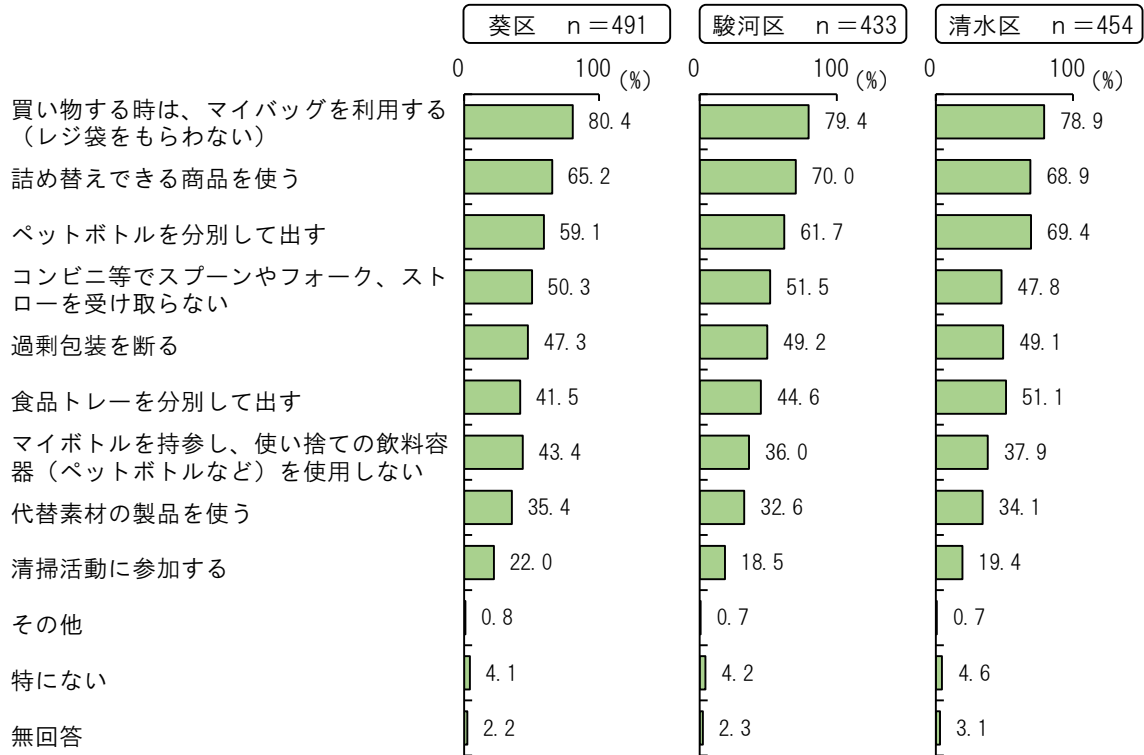
◆性別で見ると、男性において「特にない」が8.9%と多くなっている。女性においては「買い物する時は、マイバッグを利用する（レジ袋をもらわない）」「詰め替えできる商品を使う」「ペットボトルを分別して出す」などが多くなっている。

【年代別】



◆年代別でみると、10代において「買い物をする時はマイバッグを利用する (レジ袋をもらわない)」「詰め替えできる商品を使う」「ペットボトルを分別して出す」などが少なくなっている。60代においては「食品トレーを分別して出す」が52.2%と多くなっている。70歳以上においては「買い物する時は、マイバッグを利用する (レジ袋をもらわない)」が88.7%と多くなっている。

【行政区別】

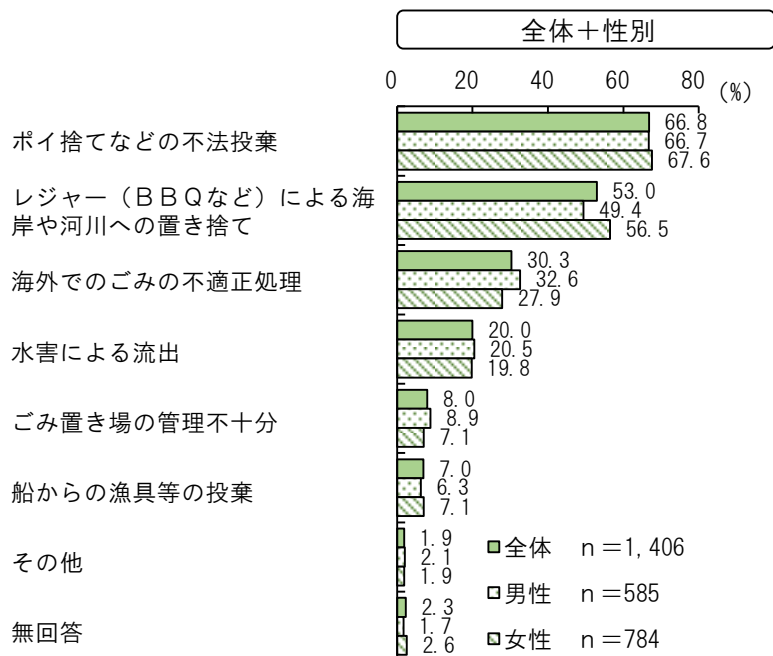


◆行政区別でみると、葵区において「マイボトルを持参し、使い捨ての飲料容器（ペットボトルなど）を使用しない」が43.4%と多くなっている。清水区においては「ペットボトルを分別して出す」「食品トレーを分別して出す」が多くなっている。

問3 あなたは、海洋プラスチックごみが発生する原因は何だと思いますか。(主なものに○を2つ)

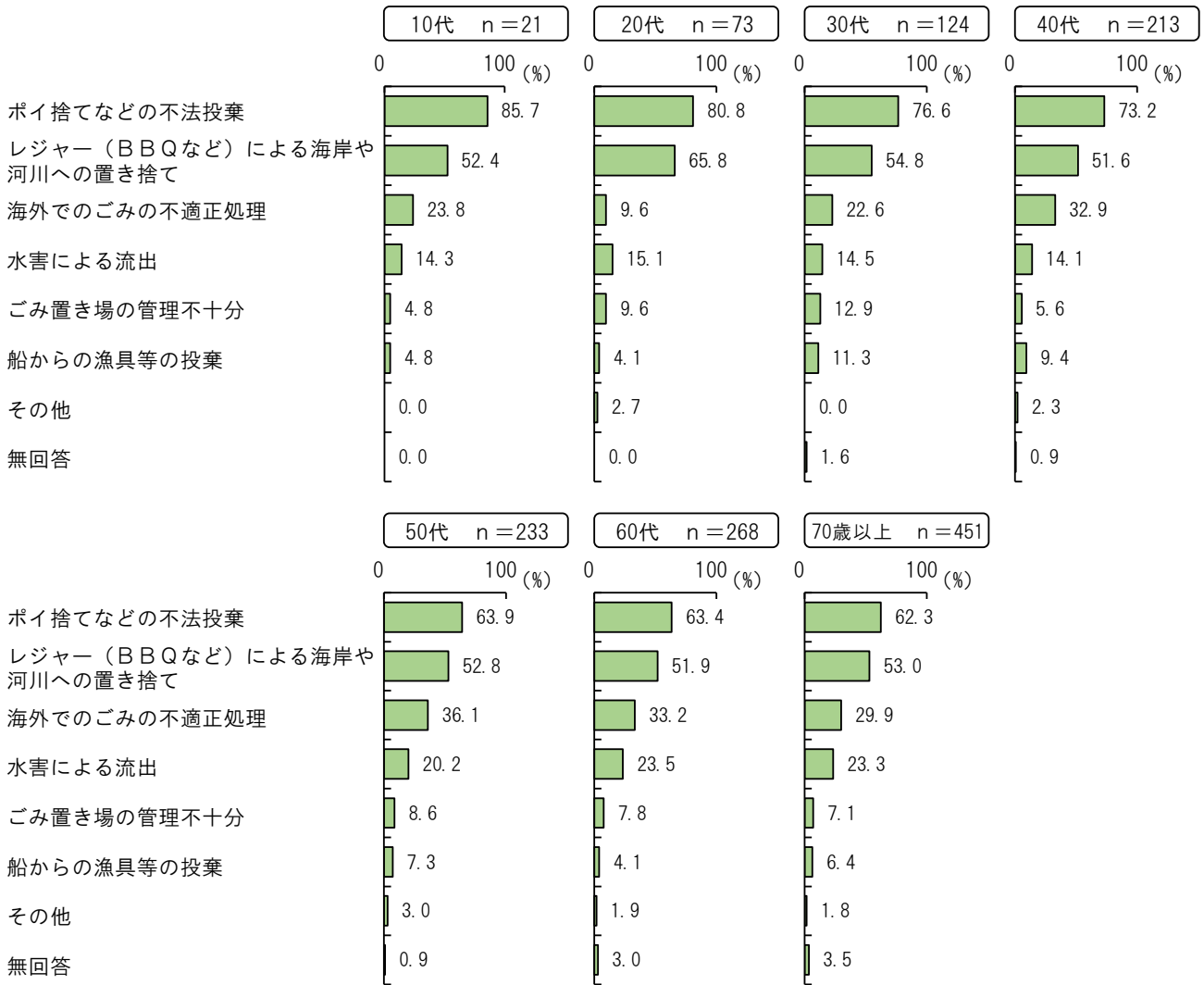
◎POINT◎

プラスチックごみが発生する原因と思うものは、「ポイ捨てなどの不法投棄」が66.8%と最も多く、次いで「レジャー（BBQなど）による海岸や河川への置き捨て」が53.0%、「海外でのごみの不適正処理」が30.3%などとなっている。



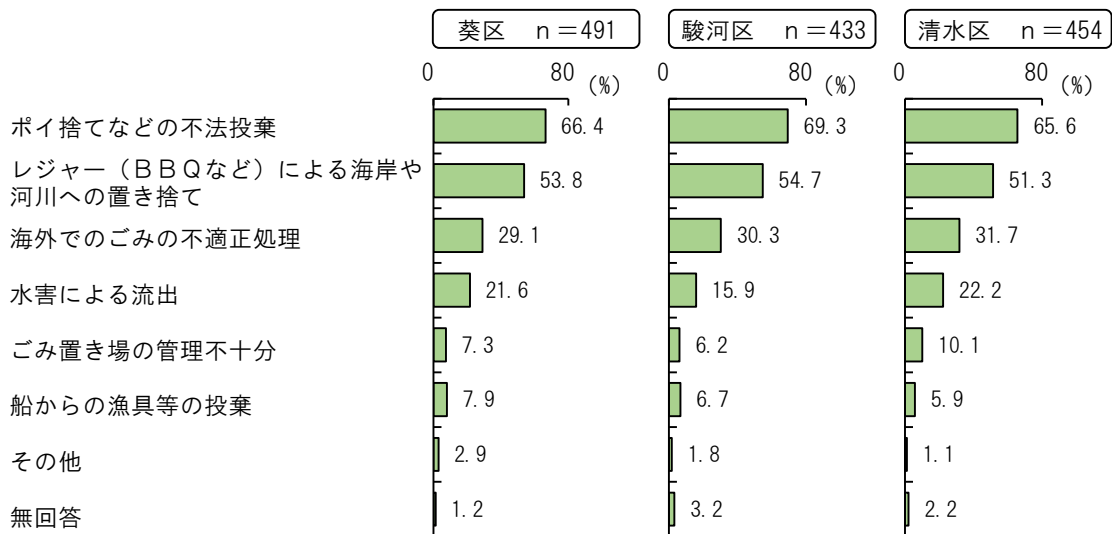
◆性別で見ると、女性において「レジャー（BBQなど）による海岸や河川への置き捨て」が56.5%と多くなっている。

【年代別】



◆年代別で見ると、10代において「ポイ捨てなどの不法投棄」が85.7%と多くなっている。20代においては「レジャー（BBQなど）による海岸や河川への置き捨て」が65.8%と多く、「海外でのごみの不適正処理」が9.6%と少なくなっている。

【行政区別】

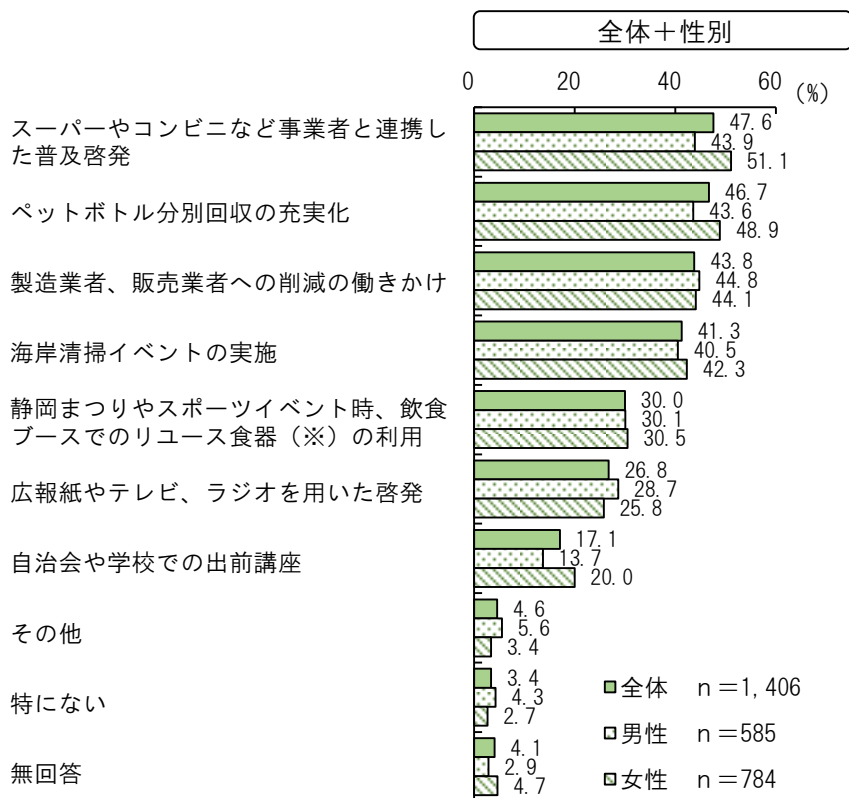


◆行政区別で見ると、駿河区において「水害による流出」が15.9%と少なくなっている。

問4 プラスチックごみ削減のために、今後市に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

◎POINT◎

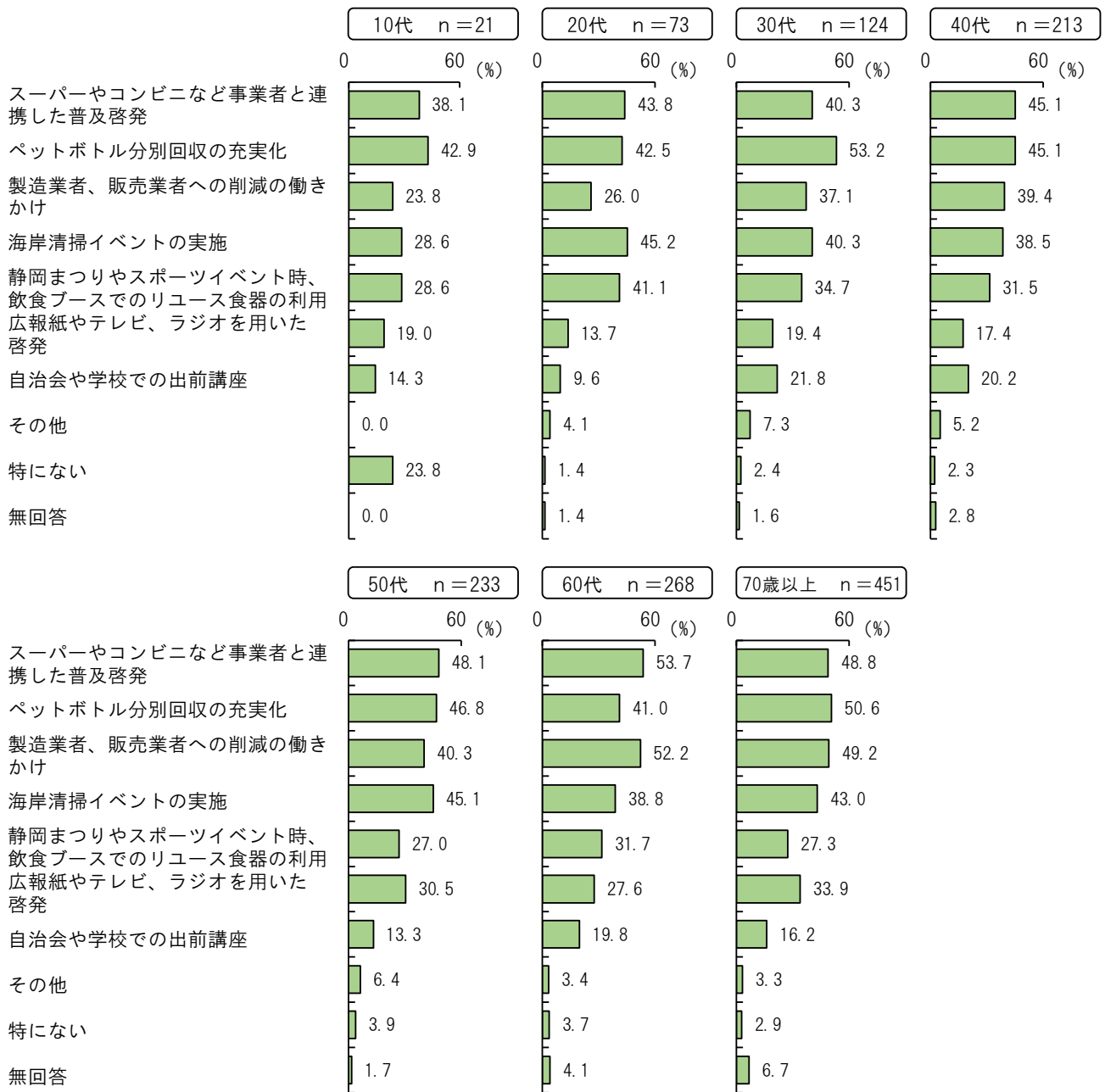
プラスチックごみ削減のために、今後市に取り組んでほしいことは、「スーパーやコンビニなど事業者と連携した普及啓発」が47.6%と最も多く、次いで「ペットボトル分別回収の充実化」が46.7%、「製造業者、販売業者への削減の働きかけ」が43.8%などとなっている。



※リユース食器：洗って繰り返し使える食器のこと（皿、カップ、箸など）。

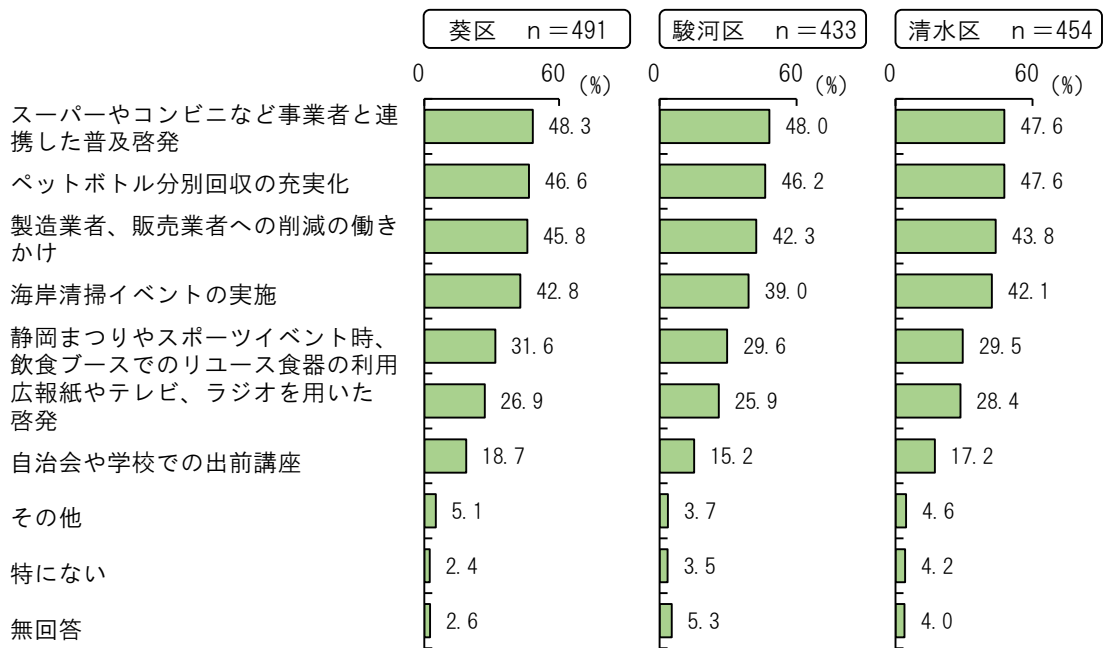
◆性別で見ると、女性において「スーパーやコンビニなど事業者と連携した普及啓発」「ペットボトル分別回収の充実化」「自治会や学校での出前講座」が多くなっている。

【年代別】



◆年代別でみると、10代において「特にない」が23.8%と多く、「海岸清掃イベントの実施」が28.6%と少なくなっている。20代においては「静岡まつりやスポーツイベント時、飲食ブースでのリユース食器の利用」が41.1%と多くなっている。60代においては「スーパーやコンビニなど事業者と連携した普及啓発」が53.7%と多くなっている。また、20代においては「海岸清掃イベントの実施」が、30代・70歳以上においては「ペットボトル分別回収の充実化」がそれぞれ最も多くなっている。

【行政区別】

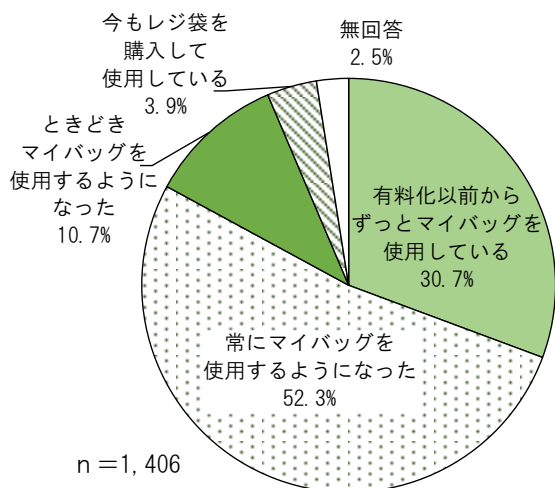


◆行政区別でみると、大きな差異はみられない。

問5 令和2年7月1日よりプラスチック製買い物袋（レジ袋）の有料化が義務化されました。有料化によりあなたの行動はどのように変わりましたか。（〇は1つ）

◎POINT◎

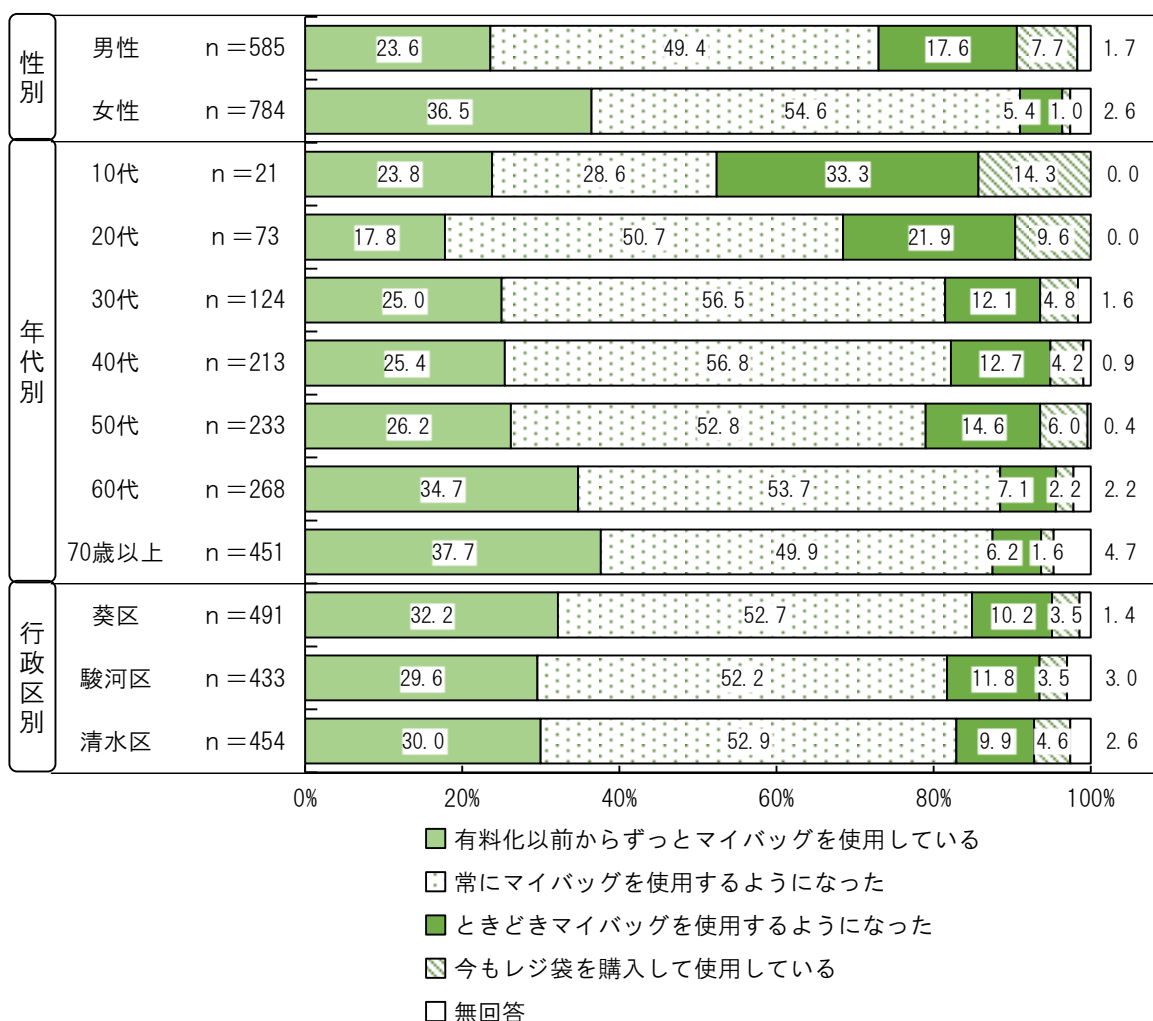
プラスチック製買い物袋（レジ袋）の有料化による行動の変化は、「常にマイバッグを使用するようになった」が52.3%と最も多く、次いで「有料化以前からずっとマイバッグを使用している」が30.7%、「ときどきマイバッグを使用するようになった」が10.7%などとなっている。



◆性別でみると、男性において「ときどきマイバッグを使用するようになった」「今もレジ袋を購入して使用している」が多くなっている。女性においては「有料化以前からずっとマイバッグを使用している」「常にマイバッグを使用するようになった」が多くなっている。

◆年代別でみると、10代において「ときどきマイバッグを使用するようになった」が33.3%と多く、「常にマイバッグを使用するようになった」が28.6%と少なくなっている。20代においては「有料化以前からずっとマイバッグを使用している」が17.8%と少なくなっている。

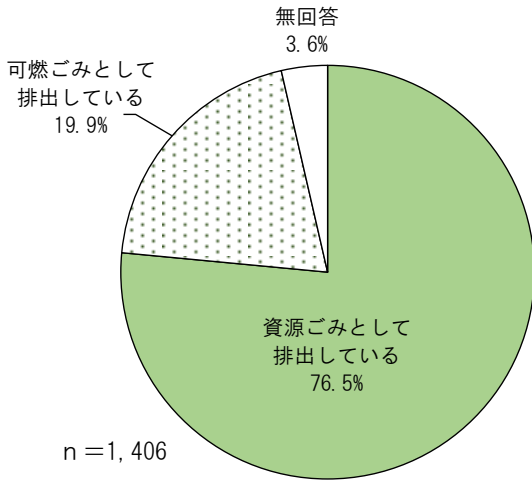
◆行政区別でみると、大きな差異はみられない。



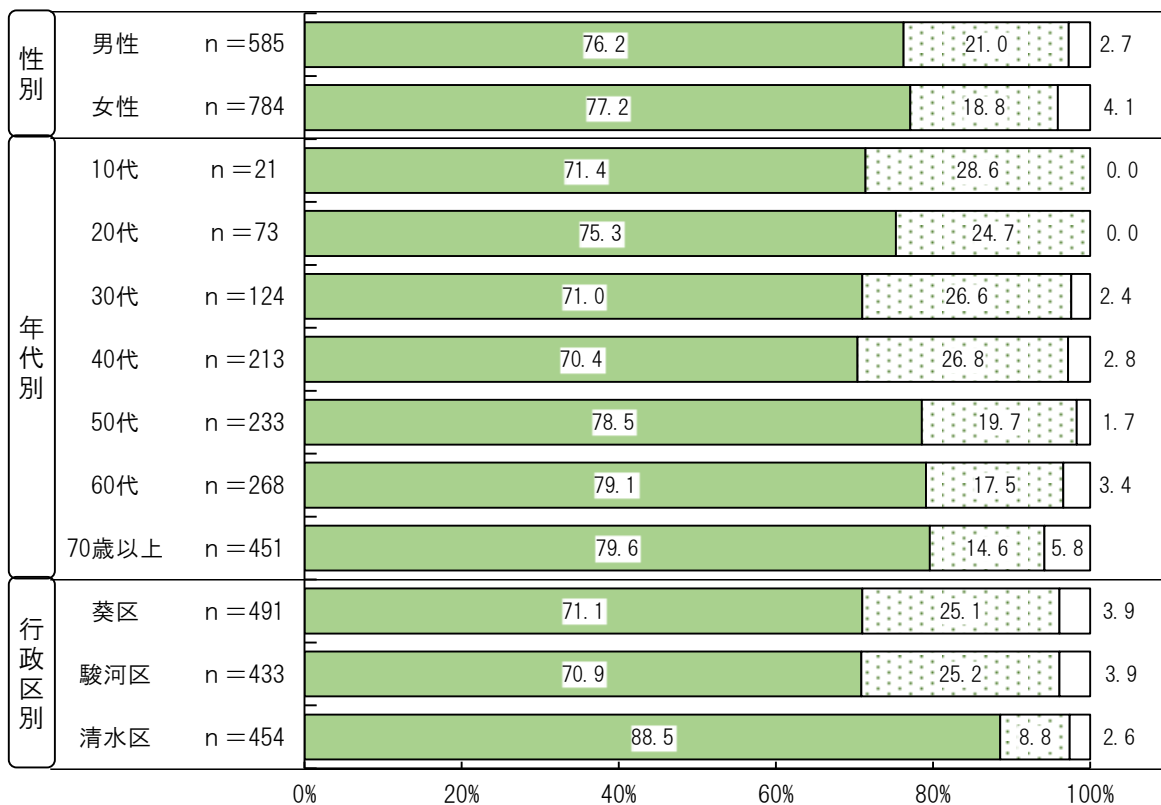
問6 あなたは、ペットボトルをどのように排出していますか。(○は1つ)

◎POINT◎

ペットボトルの排出方法は、「資源ごみとして排出している」が76.5%、「可燃ごみとして排出している」が19.9%となっている。



- ◆性別・年代別で見ると、大きな差異はみられない。
- ◆行政区別で見ると、清水区において「資源ごみとして排出している」が88.5%と多くなっている。



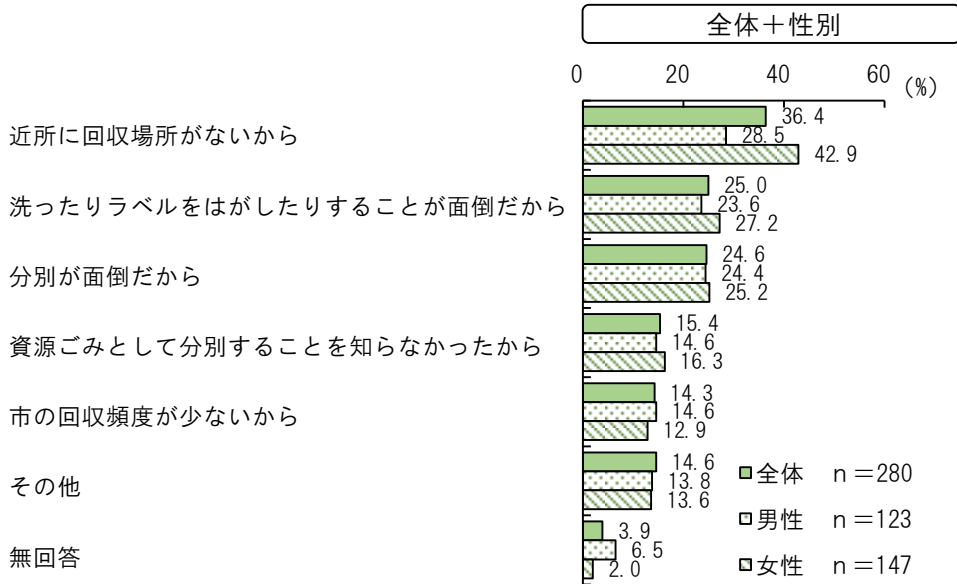
■ 資源ごみとして排出している □ 可燃ごみとして排出している □ 無回答

【問6で「可燃ごみとして排出している」と回答した方のみ】

問6—1 ペットボトルを可燃ごみとして排出する理由は何ですか。(〇はいくつでも)

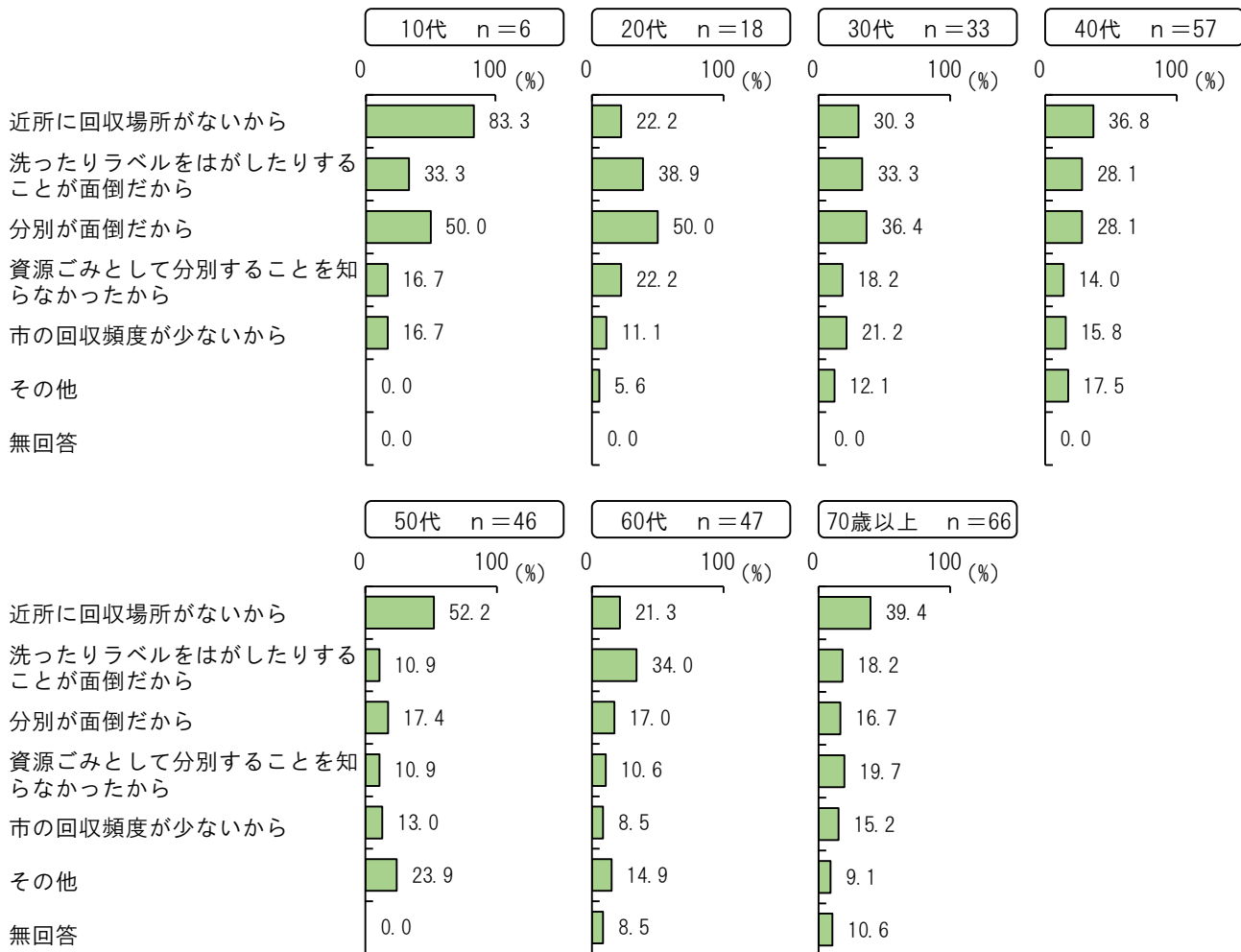
◎POINT◎

ペットボトルを可燃ごみとして排出する理由は、「近所に回収場所がないから」が36.4%と最も多く、次いで「洗ったりラベルをはがしたりすることが面倒だから」が25.0%、「分別が面倒だから」が24.6%などとなっている。



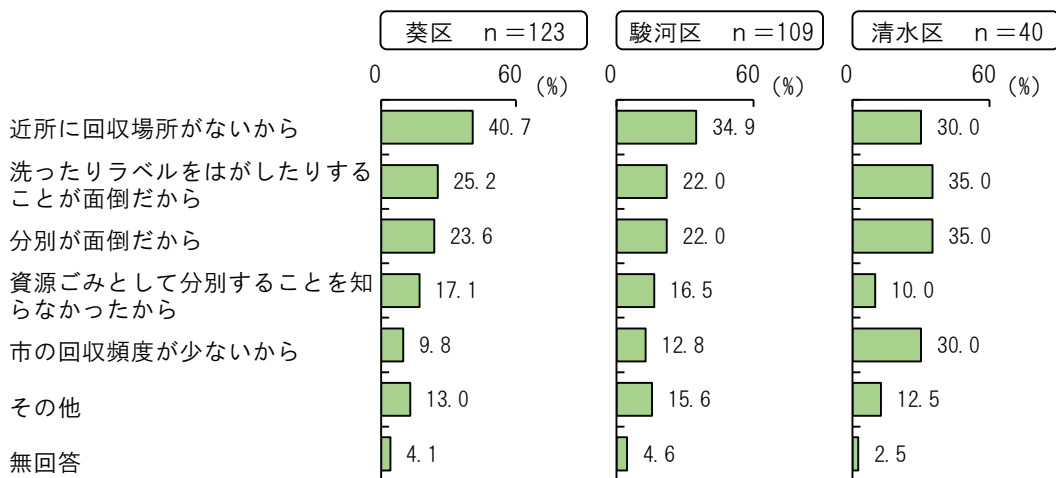
◆性別で見ると、女性において「近所に回収場所がないから」が42.9%と多くなっている。

【年代別】



◆年代別でみると、30代において「分別が面倒だから」が36.4%と多くなっている。50代においては「近所に回収場所がないから」が52.2%と多く、「洗ったりラベルをはがしたりすることが面倒だから」が10.9%と少なくなっている。また、20代・30代においては「分別が面倒だから」が、60代においては「洗ったりラベルをはがしたりすることが面倒だから」がそれぞれ最も多くなっている。

【行政区別】

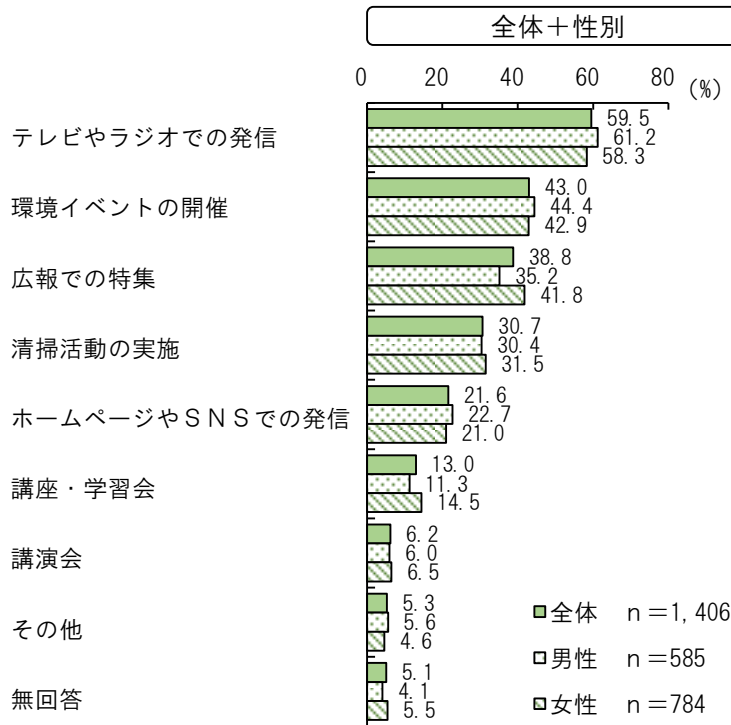


◆行政区別でみると、葵区において「近所に回収場所がないから」が40.7%と多くなっている。清水区においては「洗ったりラベルをはがしたりすることが面倒だから」「分別が面倒だから」「市の回収頻度が少ないから」が多く、「資源ごみとして分別することを知らなかったから」が10.0%と少なくなっている。

問7 プラスチックごみ問題について、多くの人に意識を持ってもらうためにはどのようなものが効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

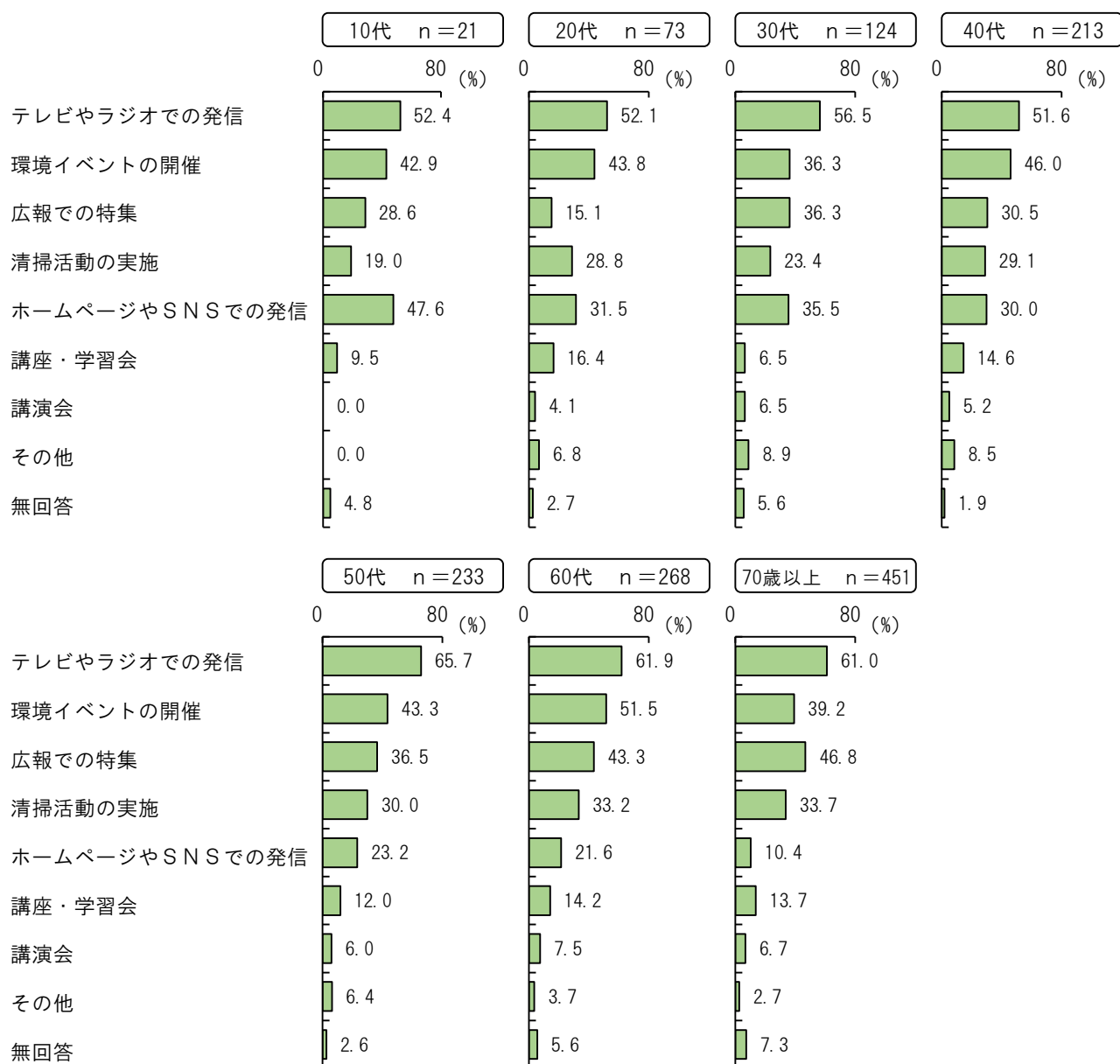
◎POINT◎

プラスチックごみ問題への意識を高めるために効果的だと思うものは、「テレビやラジオでの発信」が59.5%と最も多く、次いで「環境イベントの開催」が43.0%、「広報での特集」が38.8%などとなっている。



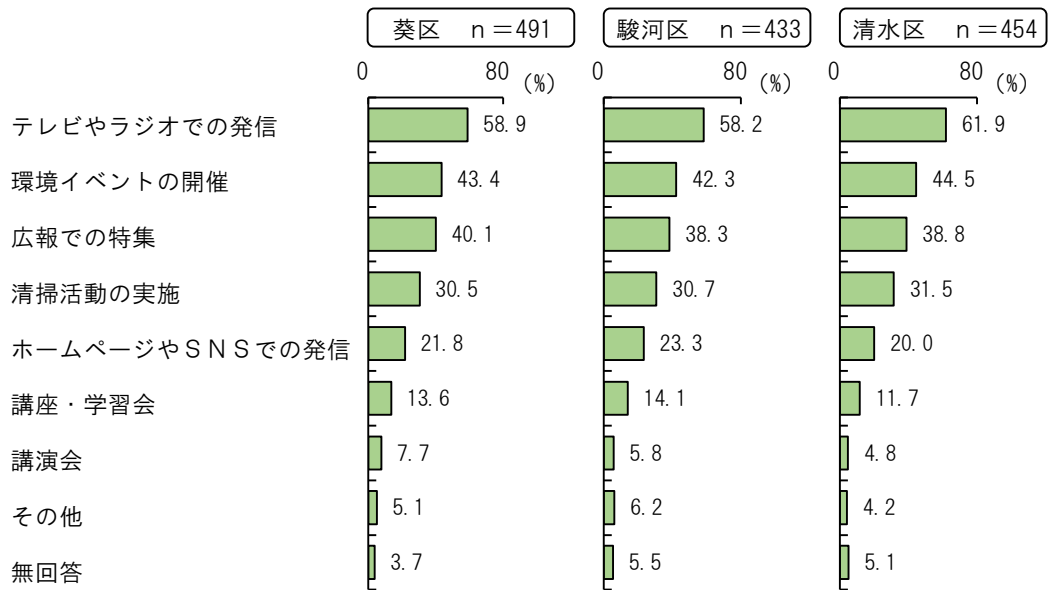
◆性別で見ると、女性において「広報での特集」が41.8%と多くなっている。

【年代別】



◆年代別で見ると、10代において「ホームページやSNSでの発信」が47.6%と多くなっている。20代においては「広報での特集」が15.1%と少なくなっている。60代においては「環境イベントの開催」が51.5%と多くなっている。70歳以上においては「ホームページやSNSでの発信」が10.4%と少なくなっている。

【行政区別】

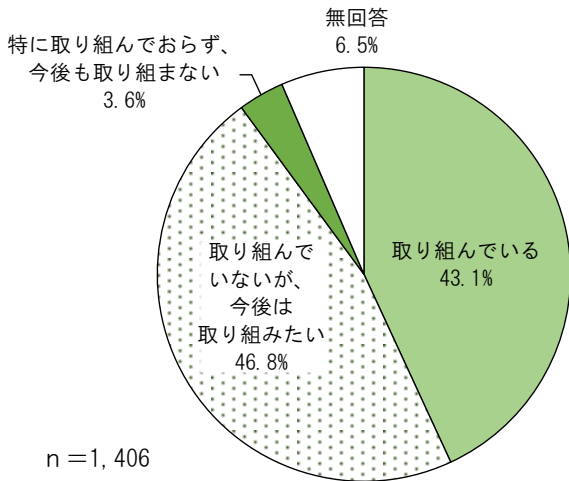


◆行政区別でみると、大きな差異はみられない。

問8 あなたは、ごみ減量やリサイクルなどの4R※に取り組んでいますか。プラスチックごみに関すること以外でお答えください。(〇は1つ)

◎POINT◎

ごみ減量やリサイクルなどの4Rに取り組んでいるかについては「取り組んでいないが、今後は取り組みたい」が46.8%と最も多く、次いで「取り組んでいる」が43.1%、「特に取り組んでおらず、今後も取り組まない」が3.6%となっている。



- ◆性別で見ると、男性において「取り組んでいないが、今後は取り組みたい」「特に取り組んでおらず、今後も取り組まない」が多くなっている。女性においては「取り組んでいる」が49.9%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、10代において「特に取り組んでおらず、今後も取り組まない」が14.3%と多く、「取り組んでいる」が23.8%と少なくなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。

